

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名		非核宣言自治体協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務部	課長名	建岡純雄
	施策	1	危機管理・防災対策の推進		所属課	総務課	担当者名	飯開輝久雄
	基本事業	1	災害の未然防止対策		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10004	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	・非核宣言自治体協議会に参画して、全国の自治体に核兵器廃絶・平和宣言を呼びかけ、非核都市宣言を実施した自治体間の協力体制を確立する。 ・旧西合志町が、非核宣言自治体を宣言しており、合志市も加盟した。世界的にテロや戦争が頻発しており、自治体として非核・平和活動に参画することは重要な時代となったが、当該協議会の内容が関係者の旅費が大だったため、22年度で会を脱会した。
【業務の流れ】	①非核宣言自治体協議会への負担金納入事務、②総会に参加、③啓発資料を職員配布 ※22年度で会を脱会する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	・負担金の支払い。	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		・なし
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 円	予算の主な増減の理由
→ ア 負担金の額		・協議会脱会による減
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・非核宣言自治体協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 団体数(宣言実施自治体) 団体
		→ イ 団体数(協議会加入自治体) 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・市として目的に沿った活動ができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 新たに参加した自治体数(協議会加入自治体) 自治体
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	円	60,000	60,000	60,000	60,000	0	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	団体	1,496	1,511	1,520	0	0	0	0
	イ	団体	241	260	270	0	0	0	0
③ 成果指標	ア	自治体	9	21	10	0	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	60	60	60	60	0	0	0
人件費	(A) 事業費計	千円	60	60	60	60	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	60	60	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	2	1	1	4	0	0	0
(B) 人件費計		千円	8	3	3	16	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	68	63	63	76	0	0	0

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	非核宣言自治体協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 協議会が主体的に行うので、不明。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 非核宣言自治体協議会が主体なので、成果の向上が難しいが、広報等で平和活動の必要性を訴えることは重要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似団体はなく、統廃合は難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 非核宣言自治体協議会が人口要件において負担金を決めているので、削減は難しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 文書の受付のみで、人件費削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 非核への取り組みで、当協議会において議決されているので公平公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 自治体の協議会なので、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

非核宣言を行っているので、当該協議会を脱退した後も何かしらの取り組みを今後検討していきたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現在、市内の小学校では、長崎市へ修学旅行に行く機会があり、そこで非核の重要性を学んでいるので、今後は学校と協力し、非核の取り組みを検討していきたい。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						